

令和元年度 羽村市・杏林大学連携事業 実施結果

包括連携協定を締結している杏林大学との連携事業を各分野において下記のとおり実施しました。

(1) 公式サイト相互リンク

羽村市・杏林大学の公式サイトに連携に関するページを設け、相互にリンクさせた。

(2) 公開講演会

杏林大学の講師による、医学系、生活文化系、学術系などの分野の講演会を開催した。

年月日	場 所	内 容	参加者
令元. 8. 31 (土)	生涯学習センター ゆとろぎレセプションホール	「龍馬の夢を挫いた男～勝海舟に届いた手紙」 講師 松田和晃先生 (総合政策学部)	74 人
令 2. 1. 30 (木)	生涯学習センター ゆとろぎレセプションホール	「よくわかる、知って得する！『糖尿病のはなし』～糖尿病を知って、生活習慣病を予防しよう～」 講師 安田和基先生 (医学部)	53 人
令 2. 2. 4 (火)	生涯学習センター ゆとろぎ 講座室 1	「小児の発話障害とその対応方法～構音障害と吃音を中心に～」 講師 石井翼言語聴覚士 (杏林大学医学部 附属病院リハビリテーション室)	48 人

(3) 大学生の就職活動サポート事業「就活トライアル・イベント」

学生を対象に就職活動支援の一環として模擬面接の面接官として、市職員が参加した。

年月日	場 所	講 師	参加者
令元. 6. 22 (土)	杏林大学井の頭キャンパス	職員課職員 2 人	18 人
令元. 11. 2 (土)	杏林大学井の頭キャンパス	職員課職員 1 人	16 人

(4) 企業研究セミナー

羽村市及び市役所の業務に関する説明会の実施

年月日	内 容
令 2. 2. 27 (木)	※新型コロナウイルス感染症対策のため中止

(5) 教職課程に関する科目講義

学生を対象に、教職課程に関する科目の講義を行った。

年月日	場 所	講 師	参加者
令元. 9. 26 (木)	杏林大学井の頭キャンパス	羽村第一中学校教諭 1人	保健学部 10人 総合政策学部 3人
令元. 10. 3 (木)	杏林大学井の頭キャンパス	羽村第一中学校教諭 1人	外国語学部 9人 履修者 22人

(6) 健康寿命延伸プロジェクト『生涯スポーツの機会提供プログラム』

生涯スポーツの機会を提供することで健康寿命の延伸を図るため、運動を続けられない方や運動をすることに不安がある方などを対象に、個別評価や運動相談、運動指導などを実施した。

ア 体力測定及び相談会

対象 積極的に運動を行っていない方など

内容 体力測定・評価、運動指導等

年月日	場 所	指 導	参加者
令元. 6. 1 (土) 8. 24 (土) 12. 21 (土) 令 2. 2. 8 (土)	スポーツセンター	教員、学生により計4回の体力測定と指導を実施	延べ95人

イ 歩き方教室

内容 筋力維持講座、ポールウォーキングなどの体験

年月日	場 所	指 導	参加者
令元. 8. 31 (土) 9. 23 (月)	スポーツセンター	教員により指導を実施	延べ56人

(7) 羽村市健康フェア

年月日	内 容
令元. 10. 13 (日)	※台風第19号の影響により中止

(8) 地（知）の拠点整備事業における広報体制の構築

活動報告掲示板・パンフレットラックを生涯学習センターゆとろぎに設置し、地（知）の拠点整備事業の広報活動に努めた。

(9) 杏林大学1年次必修授業「地域と大学」

杏林大学総合政策学部・外国語学部の1年生に対し、市職員が講師となり、市の取り組みや地域の課題等に関する講義を行った。

年月日	内 容	講 師	参加者
令元. 6.28 (金)	テーマ 「オリンピック・パラ リンピック 2020 大会 に向けて」	企画政策課職員 1 人 東京オリンピック・パラリン ピック準備室職員 1 人	総合政策学部、 外国語学部 全1年生
令元. 7.12 (金)			

(10) 市役所インターンシップ

大学のキャリア教育の一環として、学生を羽村市役所でのインターンシップ生として受け入れた。

期 間	受入先	参加者
令元. 8.19 (月) ~ 8.27 (火)	リサイクルセンター、東児 童館	総合政策学部、外国語学 部学生 2人

(11) スクールインターンシップ (英語教育・養護教育)

市内小中学校で、英語教育及び養護教育の実習を実施した。

	期 間	参加校	参加者
英語教育	令元. 5.15 (水) ~令 2. 2.27 (木)	栄小学校、武蔵野小学校	外国語学部学生 3人
養護教育	令元. 5.23 (木) ~令 2. 3.12 (木)	小作台小学校、羽村第二中学校、 羽村第三中学校	保健学部学生 4人

(12) 平日夜間急患センターへの医師派遣

平日夜間急患センターへの医師派遣を受けた。

(毎週月・木・土曜日及び月の第2・第4金曜日)

(13) 各種講座等への講師派遣

医学系、生活文化系、学術系などの様々な分野の講習会への講師派遣を受けた。

年月日	内 容	講 師	参加者
令元. 8. 6 (火)	骨粗しょう症予防検診フォロー事業 「明日のための骨トレ!ミニ運動実習 つき」	相原圭太先生 (保健学部)	16人
令元. 11. 29 (金)	こころの健康セミナー「SOSを上手にキ ャッチするコツとは」	伊藤淳子先生 (保健学部)	40人
令元. 12. 22 (日)	“キャッシュレス社会”カードのちがい と使い方を学ぶ	大川昌利先生 (総合政策学部)	52人
令 2. 2. 22 (土)	ゆとりぎアクティブシニア講座「ポジテ ィブな人生のエンディングプランを考 える」	角田ますみ先生 (保健学部)	53人

(14) 環境フェスティバル

ボランティアとして運営に参画した。

年月日	内 容	参加者
令元. 6. 1 (土)	当日の運営や各種イベントの司会など	外国語学部学生2人 卒業生2人

(15) 学童クラブや児童館等の関係職員や介護支援専門員等行政関係職員向けの研修会への講師派遣

ア 学童クラブや、放課後子ども教室及び児童館等の関連職員を対象に、職員のスキルアップのための講座を開催した。

年月日	内 容	講 師	参加者
令元. 9. 26 (木)	アンガーマネジメント～気になる子へ の対応について～	櫻井未央先生 (保健学部)	34人

イ 介護支援専門員研修会の実施

年月日	内 容
令 2. 3. 11 (水)	※新型コロナウイルス感染症対策のため中止

(16) はむら健康の日

杏林大学教員・学生による講義や予防プログラムを実施した。

年月日	場 所	内 容／参加者	協 力
令元. 5. 19 (日)	保健センター	・ミニ講座 「ロコモ予防で健康いきいき全身運動」 ・ロコモティブシンドローム予防コーナーの運営補助、個別相談対応 参加者：238人	相原圭太先生 楠田美奈先生 (保健学部) 保健学部生 1人

(17) 若年層向け常時・選挙時啓発の推進

若年層の政治への参画意識の高揚を図るための企画・運営として、模擬選挙等を実施した。

年月日	内 容	参加者
令元. 11. 3 (日)	11月の産業祭において模擬選挙を実施	木暮健太郎先生 総合政策学部学生13人

(18) BLS等救命救急講習会

市内中学校三校で、教員と学生による自動体外式除細動器(AED)の訓練を行った。

年月日	場 所	参加者
令元. 6. 14 (金)	羽村第一中学校	保健学部教員4人、 保健学部学生19人、中学2年生対象
	羽村第二中学校	保健学部教員4人、 保健学部学生17人、中学2年生対象
	羽村第三中学校	保健学部教員3人、 保健学部学生11人、中学2年生対象

(19) 杏林CCRCフォーラム

地(知)の拠点整備事業の活動報告と、市・大学との意見交換を行う「杏林CCRCフォーラム」を開催。

年月日	内 容
令 2. 29 (土)	※新型コロナウイルス感染症対策のため中止

(20) 杏林大学学生連携講座

生涯学習センターゆとろぎにおける講座の企画・運営に従事した。

協力学生：4人（外国語学部）

年月日	内 容	講 師	参加者
令元. 12. 7 (土)	「1964年と2020年の東京オリンピック・パラリンピックの比較」	鈴木隆広先生（日本ウェルネススポーツ大学専任講師、前東京都オリンピック・パラリンピック準備局総務部局務担当課長）	46人

(21) 青梅・羽村ピースメッセンジャー事業

羽村市と青梅市の中学生を広島県へ派遣する平和事業について、杏林大学学生がグループリーダーとして参加し、事前研修、広島県への随行、事後研修等に従事した。

リーダー：2人（総合政策学部1人、外国語学部1人）

(22) 羽村×八丈エコ教室

羽村市と八丈町の子どもたちの相互交流と体験型環境学習の場を提供する羽村×八丈エコ教室について、杏林大学学生がグループリーダーとして参加し、事前研修、現地活動、事後研修等に従事した。

リーダー：3人（外国語学部2人、総合政策学部1人）

(23) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の気運醸成・市民の意識の高揚を図る取組みへの参加

ア 東京2020大会を応援しよう！1年前イベント in 羽村

年月日	内 容	参加者
令元. 9. 7 (土)	ボッチャ体験等への協力	一場友実先生(保健学部) 保健学部学生・OB 6人

イ オリンピック・パラリンピック関連ブース出展事業

年月日	内 容	参加者
令元. 11. 2 (土)	東京2020大会に向けた気運醸成のためのブース出展の企画・運営への協力	木暮健太郎先生(総合政策学部) 総合政策学部学生 6人

ウ 「障害者スポーツのススメ」におけるボッチャはむら大会

年月日	内 容	参加者
令元. 12. 8 (日)	ボッチャはむら大会の大会運営への協力	一場友実先生(保健学部) 保健学部学生 6人

(24) 「羽村市健康増進計画 健康はむら 21（第二次）」中間評価

中間評価の基礎資料とするため、杏林大学の協力を得て、「羽村市の健康づくりに関する市民意識調査」を行った。